

特別調査「2020年（令和2年）の経営見通し」

問1. 貴社では、2020年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.6	4.1	44.8	36.0	12.8	1.7
合計件数	0	1	7	77	62	22	3
製造	0	1	2	15	14	4	0
卸売	0	0	1	3	4	0	0
小売	0	0	2	19	24	7	3
サービス	0	0	1	15	10	4	0
建設	0	0	1	25	10	7	0

* 2020年の日本の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が4.7%（前回13.5%）。「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が50.5%（同39.7%）となった。この結果、「良い」－「悪い」は△45.8%（同26.2%）と、1年前の調査と比べ、19.6ポイントの下降となった。業種別では、小売業が△58.2%（同45.3%）と慎重な見通しが強くなっている。他は、サービス業△43.3%（同△23.3%）、製造業△41.6%（同△20.0%）、卸売業△37.5%（同△12.5%）、建設業△37.3%（同△11.7%）となり、全業種で景気見通しは「悪い」と見る結果となった。

問2. 貴社では、2020年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.6	2.9	47.7	38.9	7.0	2.9
合計件数	0	1	5	82	67	12	5
製造	0	0	1	20	13	1	1
卸売	0	0	0	3	4	1	0
小売	0	0	1	21	25	4	4
サービス	0	0	1	15	12	2	0
建設	0	1	2	23	13	4	0

* 2020年の自社の業況見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が3.5%（前回10.5%）。「悪い」（「非常に悪い」・「悪い」・「やや悪い」の合計）と回答する割合が48.8%（同41.6%）となった。この結果、「良い」－「悪い」は△45.3%（同△31.1%）と、1年前の調査と比べ14.2ポイント下降した。業種別では、小売業が△58.3%（同△54.6%）、卸売業△56.5%（同△37.5%）、と慎重な見通しが強くなっている。他は、サービス業△43.4%（同△23.3%）、製造業△38.9%（同△31.4%）、建設業32.5%（同△4.7%）となり、建設業が前回調査より見通しは「良い」としているが、他の業種は全て「悪い」と見る結果となった。

問3. 2020年において貴社の売上額の伸び率は、2019年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少
合計(構成比)	0.0	0.0	3.5	7.6	58.7	18.6	9.3	1.7	0.6
合計件数	0	0	6	13	101	32	16	3	1
製造	0	0	1	2	22	5	3	3	0
卸売	0	0	0	2	3	2	1	0	0
小売	0	0	1	6	26	14	7	0	1
サービス	0	0	0	1	21	5	3	0	0
建設	0	0	4	2	29	6	2	0	0

* 2020年の自社の売上額見通し(伸び率)は、「増加」が11.1%(前回18.6%)、「減少」が30.2%(同29.9%)となった。この結果、「増加」-「減少」は△19.1%(同△11.3%)と、1年前の調査と比べ、7.8ポイント(同5.4ポイント)下降となった。業種別では、小売業が27.3%(同△38.2%)、サービス業が△23.4%(同△16.8%)、製造業が△22.1%(同8.6%)、卸売業△12.5%(同△25.0%)、建設業△4.7%(同13.8%)、となっている。前回調査では、製造業、建設業がプラスとなっていたが、今回調査ではマイナスとなり、全業種が売上の減少を見通す結果となった。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. すでに上向いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	7.0	1.7	7.6	5.2	2.3	9.9	66.3
合計件数	12	3	13	9	4	17	114
製造	4	1	5	1	2	4	19
卸売	0	0	1	0	1	0	6
小売	3	1	0	2	0	7	42
サービス	0	1	2	2	0	1	24
建設	5	0	5	4	1	5	23

* 自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」と回答する割合が7.0%で、1年前の調査(8.8%)と比べ、1.8ポイント下降した。また、「6か月以内」や「1年後」とする比較的前向きな回答の割合は、9.3%で、1年前の調査(15.8%)と比べ、6.5ポイント下降した。一方、「業況改善の見通しは立たない」と回答する割合は66.3%で、1年前の調査(56.8%)と比べ、9.5ポイント上昇し、厳しい業況が続いていることが窺える結果となった。

問5. 10月以降の貴社の経営は、消費税率引上げ前の見通しと比べて、どのような影響を受けていますか。受けている影響とその理由について、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	見通しより良い影響					見通しと変わらない	見通しより悪い影響				
	1. ポイント還元制度	2. 食品等の軽減税率	3. 自動車・住宅等の各種税制優遇措置	4. 特需の発生	5. その他		6. 変わらない	7. 売上の減少	8. 利幅の縮小	9. 事務負担の増加	10. その他
合計(構成比)	1.2	0.6	0.0	0.6	0.6	74.4	12.7	6.4	3.5	0.0	
合計件数	2	1	0	1	1	128	22	11	6	0	
製造	0	0	0	0	1	29	3	0	3	0	
卸売	0	0	0	0	0	6	1	0	1	0	
小売	2	1	0	0	0	35	10	6	1	0	
サービス	0	0	0	0	0	22	7	1	0	0	
建設	0	0	0	1	0	36	1	4	1	0	

* 今年10月、消費税率が8%から10%に増税されたが、消費税率引上げ前の見通しと比べると、74.4%と7割以上の企業が「変わらない」と回答した。「良い影響」と回答したのは3.0%。「悪い影響」と回答したのは22.6%という結果となった。「良い影響」で多かったのは「ポイント還元制度」1.2%で小売業が多かった。「悪い影響」で多かったのは「売上の減少」12.7%、「利幅の縮小」6.4%でいずれも小売業が多かった。業種別に見ると、全ての業種で「見通しと変わらない」が多数を占めたが、製造業、小売業、建設業では「見通しより良い影響」との回答もみられた。

～調査員のコメントから～

- 機械の故障で休業。機械の導入も考えたが、後継者もなく廃業を決めた。(製造業)
- 消費税増税で10月初旬の来店客は減少。現状は回復し増税の影響は余りない。(製造業)
- 特売市開催で顧客確保に努めている。不採算部門の整理・縮小を行っている。(製造業)
- 前年同期比売上・収益増加。若手の人材確保、下請け先確保に取り組んでいる。(建設業)
- 町内外の小口工事も手掛け、業況は安定している。(建設業)
- 原材料価格の高騰、天候不順の影響を受けている。(建設業)
- 売上・収益やや増加。消費税増税の影響はない。(小売業)
- ドラッグストアの出店で、売上減少の影響が出ている。(小売業)
- 姉妹都市特産の塩を使い新巻サケを製造。九州の北海道市に数量限定で販売。(小売業)
- テレビ等の広告で、お客様からの問い合わせが増加し、PR効果が出ている。(サービス業)
- 固定客で安定しているが、人口減少が続き、新規顧客の獲得に不安を感じる。(サービス業)
- 消費税増税で仕入れ単価上昇。売上の減少はないが、今後も経費節減が必要。(サービス業)